

我が家の庭園

★ワンポイントアドバイス

ぶどうやイチジクなどは、キウイフルーツと同様に枯れ込みやすいため、残すべき芽の植えの1芽を犠牲にして枯れ込みを少なくします。

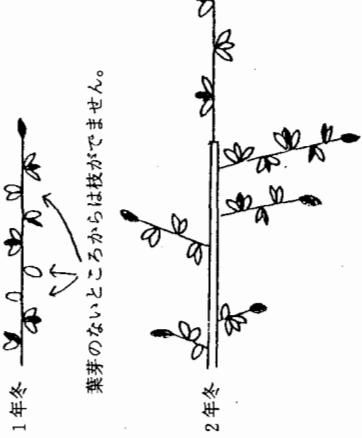


今回も、前回に引き続いて、花芽（実）のつき方にについて紹介します。

掛鯛 吉洋

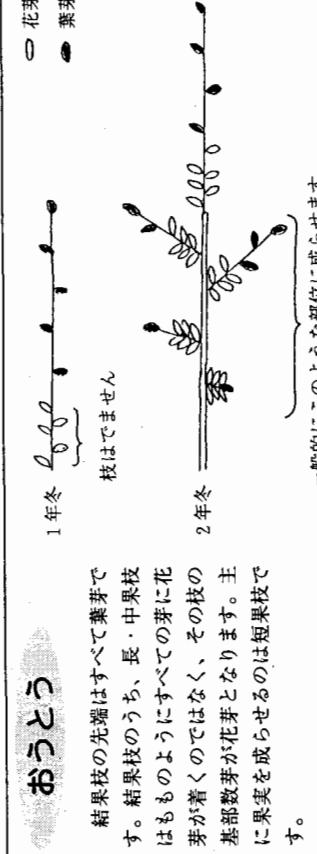
大川普及センター

も も



結果枝の先端は葉芽で、その下に葉芽や花芽があります。陰芽（外見ではわからない芽のこと）の発生が非常に少ないので、新梢を確保するためには葉芽が必要です。中・短果枝には、先端部しか葉芽がない枝があるため、先端の切り返しはしません。

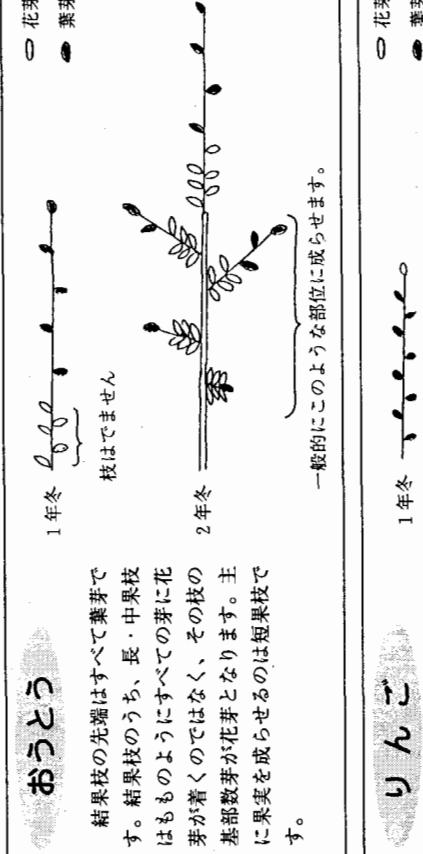
お う とう



結果枝の先端はすべて葉芽です。結果枝のうち、長・中果枝はもものようにすべての芽に花芽が着くではなく、その枝の基部数芽が花芽となります。主に果実を成らせるのは短果枝です。

一般的にこのような部位に成らせます。

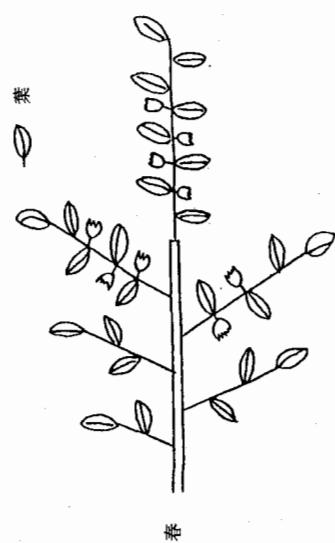
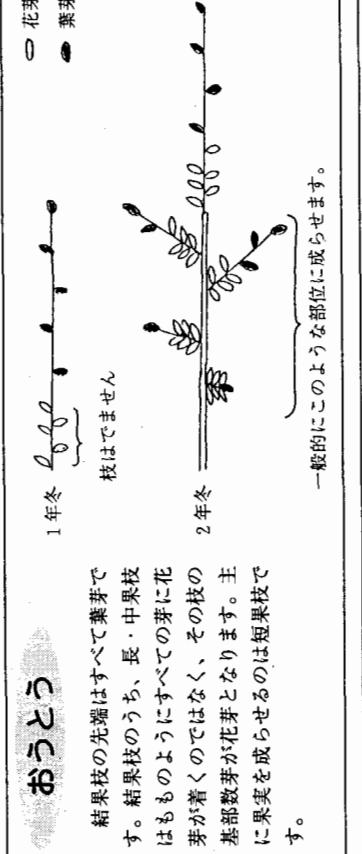
り ん ご



新梢の頂芽が花芽になります。栄養状態によって頂芽に近い芽が花芽になることもあります。一般的に短、中果枝の先端に成らせます。

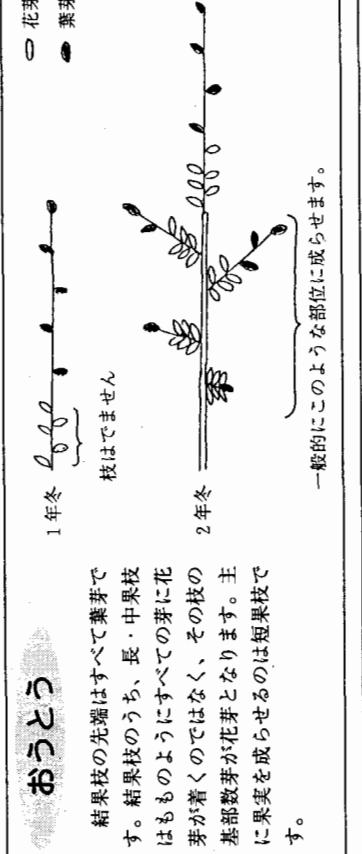
一般的にこのような部位に成らせます。

か き



先端及びその次の2~3芽から発育する新梢に雌花が着きます。

ぶ ど う



一般的な品種では、ほとんどの新梢には花が着くので、せん定のときに花芽の有無について気をつかう必要はありません。ただし、樹勢が極端に衰弱した場合や短梢せん定をした場合など、まれに花のない新梢が発生することがあります。



植え付け直前に堆肥などを施すと、まれに植え傷みを生じる場合があるので、春に植え付けを予定している場合は、今月から植え穴の準備をしておくといいでしょう。